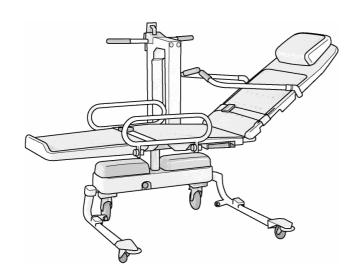
取扱説明書

エレベール専用

片持型ストレッチャー

WT－720β

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

01-104⑦KZ

もくじ

安全上のご注意 ………… 3
各部の名称 ………… 6
ご使用になる前に ………… 8
- 充電 ………… 8
- 適用製品 ………… 8
- 入浴の操作方法 ………… 8

操作方法 ………… 9
- ストレッチャーの昇降 ………… 9
- 背もたれ部のリクライニング ………… 10
- スライド式傾動枕 ………… 11
- サイドフェンス ………… 12
- 手すり ………… 13
- 安全ベルト ………… 14
- バッテリー警告灯 ………… 14
- 充電 ………… 15
- キャスター ………… 16
- 担架上の作業手順と注意点 ………… 17
- 浴槽へのセット ………… 18

お手入れの仕方 ………… 19
このようなときには ………… 19
機器の保守・点検について ………… 20
保証とアフターサービス ………… 21
仕 様 ………… 22

用途

本製品は、当社浴槽『エレベール』(CEL-720)専用の入浴用の昇降式ストレッチャーです。浴槽と組み合わせて使用します。

特長

- 電動油圧駆動方式を採用

担架の昇降に内蔵バッテリーを電源として、片手で操作できるリモコンスイッチが付いています。

- 低重心の安定設計

油圧ユニットが下方のため、介助者の視野が広くなり、低重心で安定感が高まりました。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うことに至るもの

警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

充電

注意

付属の専用充電器以外は使用しないこと
バッテリーの充電性能や寿命に悪影響を与える恐れがあります。

乾燥した場所で充電及び保管
漏電等を避けるため、浴室や湿気の多い場所で使用しないでください。使用後は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。

長期間使用しない場合でも、1か月に一度は充電
バッテリーは自然放電をしますので使用しない場合でも充電が必要です。

充電中は充電器の表面温度に注意
充電中は表面が 50℃位まであがりますので、やけどに注意してください。

充電は必ず担架を下げた状態で行うこと
油圧駆動部に負荷がかかり担架が下降しなくなる恐れがあります。

充電中はストレッチャーを移動しないこと
充電器ケーブルの断線や充電器の落下等による破損や故障の原因となります。

充電は満充電完了まで行うこと
充電が不充分だとバッテリーの寿命が短くなりますので、充電は緑ランプ点灯、赤ランプ消灯まで行ってください。

差込プラグを抜くときはプラグを持って抜く
コードを引っ張って抜くと断線し、感電やショートを起こし発火することがあります。

ストレッチャーの作業

⚠ 警告

ストレッチャー昇降時は、周囲及び入浴者の安全に注意
動作範囲内に別の入浴者や障害物がないことを必ず確認してください。また、入浴者の手足のはみ出しなどに注意してください。

入浴中の入浴者の状態に注意
水没等が発生しないように、常に観察してください。

停止しているときは、必ずキャスターをロックする
キャスターがロックされていないと、ストレッチャーへ移乗や入浴・洗身・清拭時などに、ストレッチャーが動いて入浴者が落下する恐れがあります。

担架上で作業するときは落下に注意
入浴者を担架上で起こすときや背中を洗身する際は、落下に注意してください。

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指に注意
手足の指が担架の隙間等に挟まっていないか確認してください。挟まったままで姿勢を変えたりするとけがをする恐れがあります。特に足先が拘縮や麻痺で変形している人には注意が必要です。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、必ずサイドフェンスを起こしたまま行い、入浴者の落下を防止しながら十分注意して作業をし、洗身時はベルトを使用してください。

⚠ 注意

浴槽上昇の際、手足に注意
手足が担架の外に出ていると、ストレッチャーと浴槽の間に挟まれる恐れがあります。

入浴時にストレッチャーを下降させない
ストレッチャーを下降させて入浴操作をすると浴槽底面と担架が当たり、浴槽が破損する恐れがあります。

入浴時にストレッチャーを、正しくセットする
正しくセットされていないと浴槽上昇時に浴槽と接触する恐れがあります。

ストレッチャーの移動は、ゆっくりと
入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。

ご使用後

⚠ 注意

操作部や駆動部には水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、必ず担架を最下端まで下降させておく
事故を防止します。

ストレッチャー使用後は、必ず充電する
次回使用時に途中での充電作業が不要になります。また、充電を忘れるとバッテリーの寿命が短くなることがあります。

納入時のビニールカバーは、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

警告

リクライニング後のロックを確認
手動で背もたれ部を起こしたときは、背もたれ部に上方から力を加えてしっかりとロックされていることを確認してください。

入浴者を乗せたまま枕の角度切り替え操作はゆっくり
急激に行うと驚いて思わぬ事故につながる恐れがあります。

サイドフェンスのロックを確認
ロックが不十分な場合、落下など事故につながる恐れがあります。

担架に乗せたら、必ず手すりを握らせる
握っていないと上肢が担架の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。

担架に乗せたら、必ず2本の安全ベルトを使用する
ベルトをしなかったり、ベルトの固定が適切でないと、足が浴槽との間に挟まれたり、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

皮膚の弱い入浴者の場合接触部分にタオル等を使う
皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット角部等への軽微な擦れで皮膚がけがする恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

注意

リクライニングを行う際は入浴者の手に注意
サイドフェンスや担架フレームとの間に、入浴者の手が挟まれると、けがをすることがあります。

枕を上方へ持ち上げたときは、必ずロックを確認
ロック確認位置の丸棒が溝にはまっていれば、ロックされています。

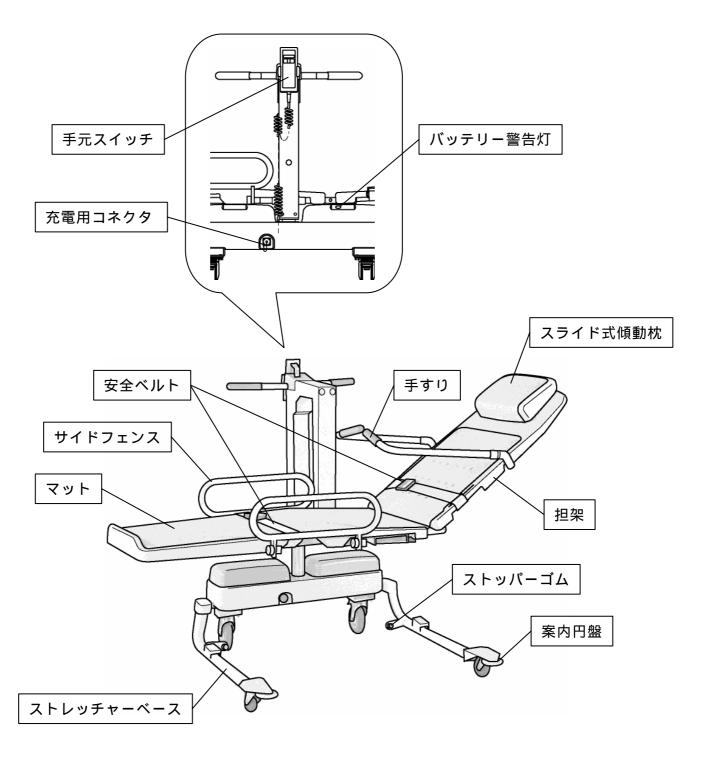
ストレッチャーを移動するときは必ずサイドフェンスを上げる
サイドフェンスが下がったまま移動すると、浴槽にサイドフェンスが当たります。

サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意
セットしたり、戻したりするときに、入浴者に当てたり、手や指が挟まれる恐れがあります。

安全ベルトの損傷に注意
ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

担架マットの損傷に注意
古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。

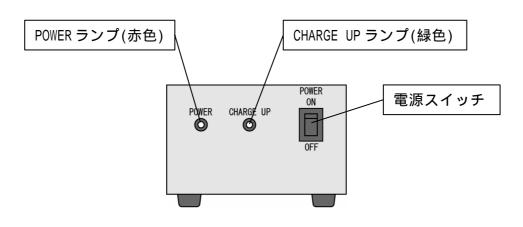
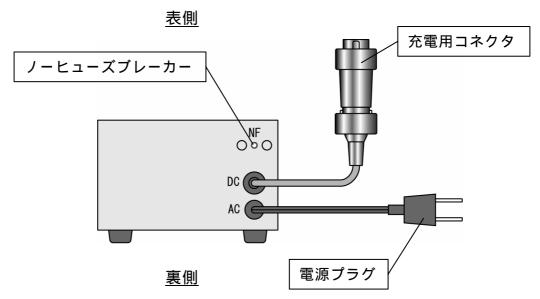
各部の名称

・ストレッチャー

（注）担架の向きが上の図と逆にセットされている場合があります。

• 充電器

表側

裏側

• 構成

片持型ストレッチャー　　WT-720β

・本体（昇降部及び手すり）　……1

・マット　……1

・安全ベルト　……２組

・スライド式傾動枕　……1

（付属品）

・充電器　……1

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.20の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

充電

本製品は出荷時に充電されていますが、使用前には必ず充電してください。
(P.15参照)

注意　付属の専用充電器以外は使用しないこと

適用製品

本製品は、当社浴槽『エレベール』(型式 CEL-720)専用のストレッチャーです。誤動作や事故の防止のため、入浴には必ずエレベールとの組合せで使用してください。

入浴の操作方法

浴槽の操作方法については、『エレベール』の取扱説明書をお読みください。

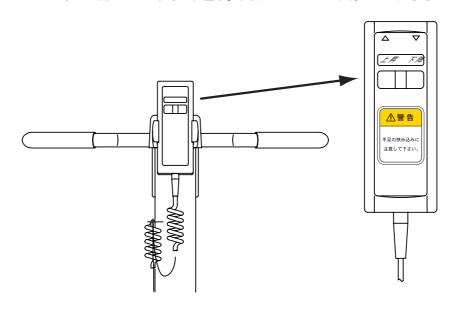
●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

操作方法

ストレッチャーの昇降

上昇

1 リモコンスイッチの上昇スイッチを押すと、担架が上昇します。
2 上昇スイッチから手を離すと停止します。
3 上昇スイッチを押し続けると、担架面高さ約 70 ㎝で自動停止します。

下降

1 リモコンスイッチの下降スイッチを押すと、担架が下降します。
2 下降スイッチから手を離すと停止します。
3 下降スイッチを押し続けると、担架面高さ約 40 ㎝で自動停止します。

警告 **・担架に乗せたら、手すり、サイドフェンス及び安全ベルトを必ず使用**

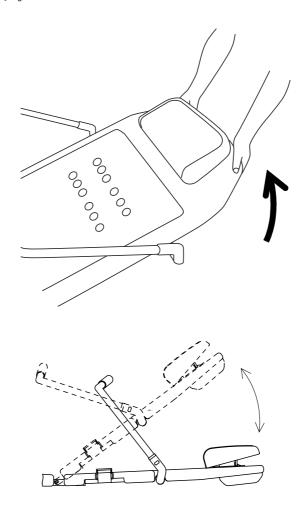
入浴者が落下する恐れがあります。

・ストレッチャー昇降時は、周囲及び入浴者の安全に注意

動作範囲内に別の入浴者や障害物がないことを必ず確認してください。また、入浴者の手足のはみ出しなどに注意してください。

背もたれ部のリクライニング

手動で操作する場合

頭部側の側面を持って背もたれ部を起こします。いっぱいに起こした後、少し戻すとそのままの姿勢で止まります。下げるときは、頭部側の側面を少し持ち上げてからゆっくり下げてください。

自動リクライニングで使用する場合

背もたれ部を水平にしてください。浴槽の昇降に連動して、背もたれ部が自動的に起きたり倒れたりします。

警告　ロックを確認

手動で背もたれ部を起こしたときは、背もたれ部に上方から力を加えてしっかりとロックされていることを確認してください。

注意　リクライニングを行う際は入浴者の手の挟み込みに注意

スライド式傾動枕

角度切換え

枕上部の凹部を少し持ち上げた後、枕内部の角度切り替えレバーを指で上に押してロックを外し、そのまま下ろすと枕の角度が下方向に傾きます。

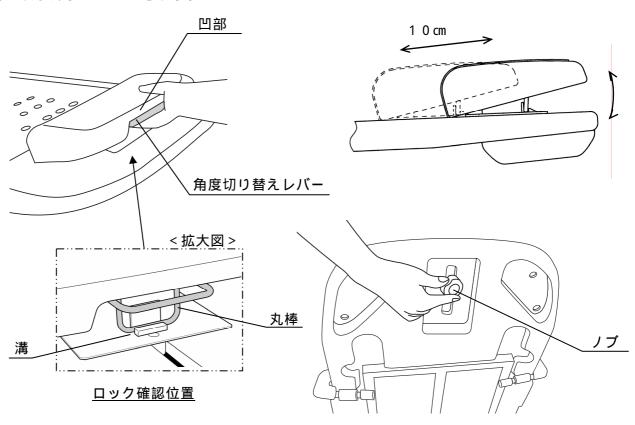
戻す際は、枕上部の凹部をつかみ上方いっぱいに持ち上げた後、下ろしてください。ほぼ水平の位置でロックします。

注意　上方へ持ち上げたときは、必ずロックを確認

位置調節

背もたれ部裏側にあるノブを緩めることにより、枕を上下に 10 ㎝スライドさせることができます。位置を決めたらノブを回して固定してください。

枕の着脱

背もたれ部から枕を取り外す場合は、ノブを完全に緩めると、ノブが外れますので、枕を取り外すことができます。

警告　入浴者を乗せたままの角度切り替え操作はゆっくり

急激に行うと驚いて思わぬ事故につながる恐れがあります。

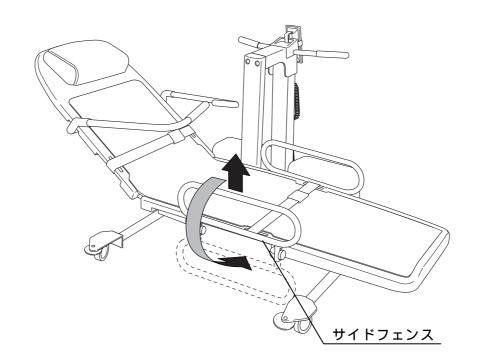
サイドフェンス

移乗は片側のサイドフェンスを倒して行います。移乗と反対側は倒さないでください。

下げるとき

サイドフェンスを両手で引き上げ①、ロックを外し、外側に回転②させます。

上げるとき

サイドフェンスを回転させ、垂直の位置で静かに下げ、サイドフェンスをロックさせます。

警告　サイドフェンスのロックを確認

ロックが不十分な場合、落下など事故につながる恐れがあります。

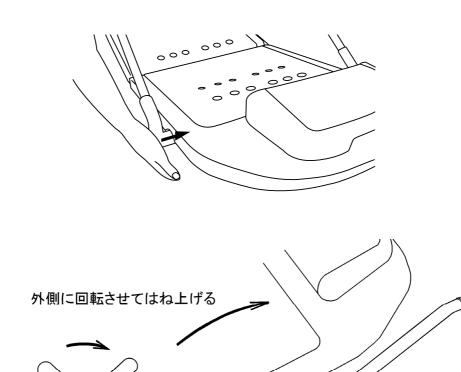
注意　・ストレッチャーを移動するときは必ずサイドフェンスを上げる

・サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意

手すり

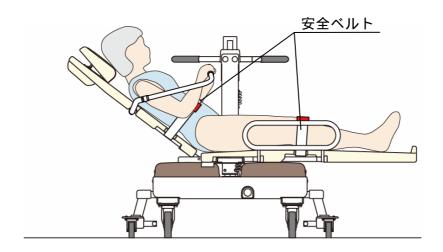
片側の手すりを、はね上げて移乗等をします。移乗と反対側の手すりは水平のままにしてください。

手すりをはね上げるときは、手すりのつけ根部を内側へ押した後、枕側に倒してください。元に戻すとロックします。

この操作の際には、入浴者の顔に手すりが当たらないように、手すりを必ず外側へ回転させたまま行ってください。（手を離すと内側へ回転します）

 警告　担架に乗せたら、必ず手すりを握らせる

握っていないと上肢が担架の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。

安全ベルト

担架へ入浴者を移乗させたら安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、長さを調節します。腹部と下肢部の 2 か所のベルトを着用して調節してください。

 警告　・担架に乗せたら、必ず２本の安全ベルトを着用する

ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

 注意　安全ベルトの損傷に注意

バッテリー警告灯

ストレッチャーの操作前にバッテリー警告灯が点灯していないことを確認してください。

バッテリー警告灯が点灯しているときは、バッテリーの容量が少なくなっていますので、ストレッチャーの使用をやめて充電を行ってください。点灯後も使用し続けるとバッテリーの寿命が短くなります。

充電

ストレッチャー使用後は、必ず担架を下げた状態（下限位置）にしてから、次の手順で充電を行ってください。
※充電器に付属の取説の注意に従ってください。
※本体のコネクタ周りの水分をよく拭きとってください。

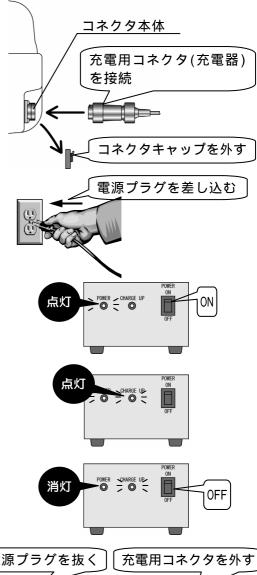
1 充電器の電源スイッチ(POWER)のOFFを確認した後、本体のコネクタキャップを外し、充電用コネクタを接続します。

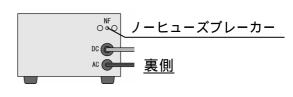
2 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 充電器の電源スイッチ(POWER)を ON にします。赤の表示灯(POWER)が点灯し、充電を開始します。

4 充電が進行し、ほぼ満充電に近づくと、緑の表示灯(CHARGE UP)が点灯致します。

5 充電が完了すると、赤の表示灯(POWER)が消灯するので、電源スイッチを OFF にします。

6 充電が終わりましたら充電器の電源プラグをコンセントから抜き、充電用コネクタを外し、本体にコネクタキャップを取り付けます。

参考

- 充電器裏側にはノーヒューズブレーカー(ＮＦ)が取り付けられています。
  電池の逆接続やコネクタのショート、過電流時に動作し内部の保護をします。動作した場合は原因を取り除きボタンを押して復帰してください。
- １回の充電で約 100 回昇降が可能です。

注意
- **乾燥した場所で充電をする**
- **充電中は充電器の表面温度に注意**
- **充電は必ず担架を下げた状態で行うこと**
- **充電中はストレッチャーのキャスターをロックする**

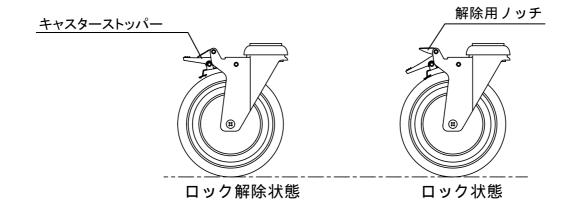
キャスター

ロック

　後側２輪のキャスターストッパーを踏み込むとロックがかかります。

　移乗作業、洗浄作業、清拭作業時等のように担架上で作業をするときは、必ずロックを掛けてください。

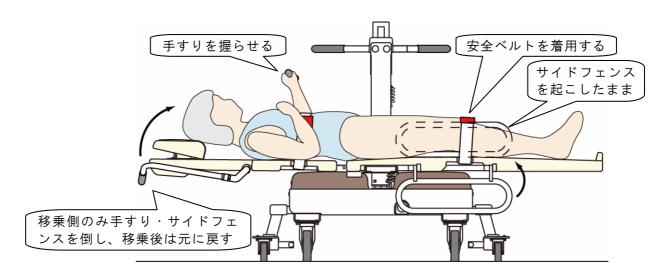
解除

　解除用ノッチを踏みます。

警告　停止しているときは、必ずキャスターをロックする

ロックされていないと、ストレッチャーが動いて事故につながる恐れがあります。

担架上の作業手順と注意点

担架へ入浴者を移乗させるとき

1 ストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。
2 移乗はリクライニングを倒した状態（ほぼ水平）で行います。
3 移乗する側の手すりを枕側に倒し、サイドフェンスを倒します。移乗と反対側の手すりとサイドフェンスは、起こしたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。
4 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、手すり・サイドフェンスを元に戻してからストレッチャーの移動をします。

担架上で洗髪・洗身を行うとき

1 ストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを確認します。
2 狭い担架上での体位変換作業は、必ずサイドフェンスを起こしたまま行い、入浴者の落下を防止しながら注意深く作業します。
3 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

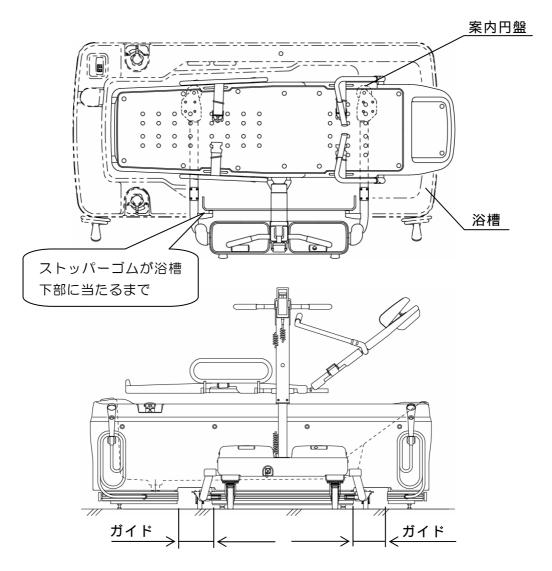
 警告　担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い担架上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

浴槽へのセット

1 浴槽を下限まで下げます。

2 担架下面が浴槽の縁を超える高さまで、担架を上昇させます。

3 ストレッチャーの案内円盤を浴槽下部のガイドに合わせて、ストレッチャーを押し込みます。（ストッパーゴムが浴槽下部に当たるまで押し込みます）

4 ストレッチャーのキャスターロックをかけます。

5 入浴者の安全を確認後、浴槽を上昇させて入浴します。

警告　入浴中の入浴者の状態に注意

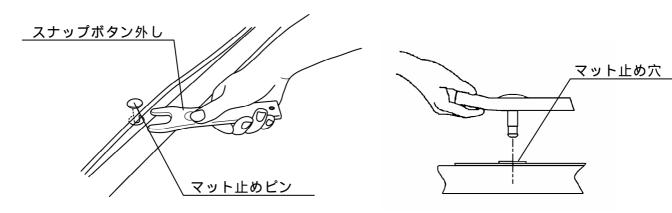
常に観察し、水没等が発生しないようにしてください。

注意　・浴槽上昇の際、手足に注意

・入浴時にストレッチャーを下降させない

・入浴時にストレッチャーを、正しくセットする

お手入れの仕方

- 操作スイッチは、雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- ストレッチャーベースのカバーは、FRP 製です。たわし等で擦りますと傷がつきますのでスポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。
- ステンレス部は、水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭き取ってください。
- 担架マットを外す場合には、マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。
  マットを取り付ける場合には、マット止めの穴にピンを差し込んで押してください。

注意　・担架マットの損傷に注意
・操作部や駆動部には水をかけない

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
ボタンを押しても動かない。	バッテリーの容量不足。	充電を行ってください。 （“P.15 充電”参照）
充電したのに動かない。	電気回路のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
上昇するが下降しない。	油圧回路のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
上昇中に変な音がする。	シリンダーのトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
充電器のブレーカーのピンが、飛び出した。	電気回路のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。

- その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
- ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	フレームのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視
	マットの破れ及びマット止めピンのはずれ	目視(ピンが穴から単に抜け出しているだけのときは押し込んでください)
	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の摩耗	目視 及び、触って確認
	担架面・サイドフェンス・手すりの緩み、ガタつき	目視 及び、触って確認
	バッテリーの警告灯	目視
機能	ストレチャーの昇降	リモコンスイッチを押してスムーズに昇降・停止するか確認
	リクライニング部のロック	背もたれをロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認
	キャスターの動き	方向・回転ともスムーズに動くことを確認
	キャスターのロック	キャスターのロックを掛けてキャスターの回転と首振りのロックを確認

保証とアフターサービス

◆ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは5年間、それ以外は1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

◆ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*WT-720β*
  お買い上げ年月：　　年　　月
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決して分解しないでください。

◆ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

◆ 耐用期間

10年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

◆ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。
  マット(止めピン付) / 安全ベルト / バッテリー
- 正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。
  手すりグリップカバー / キャスター

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

◆ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後10年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

●片持型ストレッチャー

型　　式		WT-720β
外形寸法(L×W×H)		1840×975×907～1207 mm
質　　量		約 85 kg
最大搭乗質量(入浴者)		100 kg
材質	フレーム	ステンレス・一部粉体塗装仕上
	担架カバー・枕	プラスチック（背もたれ部，座面）・合成ゴム
	手すり	ステンレス・一部粉体塗装仕上
	サイドフェンス	ステンレス・一部粉体塗装仕上
駆動方式		電動油圧方式
キャスター		φ75 mm、φ125 mm（個別ロック付）
機　　能		手動リクライニング（2 段階）
付 属 品		充電器、枕、安全ベルト、スナップボタン外し

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。